

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	小児援助論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各教室
担当教員	倉橋 陽子 他	実務経験と その関連資格	総合病院で病棟看護師として勤務			
《授業科目における学習内容》 さまざまな状況にある子どもとその家族について理解する。また、子どもの成長・発達や健康の状態に応じた日常生活援助や診療に伴う援助を実施するために、科学的根拠に裏づけされた小児の看護技術を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》 授業態度・出席状況(10%)、筆記試験(90%)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 系統看護学講座 小児看護学概論・小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院 系統看護学講座 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院 根拠と事故防止からみた小児看護技術 医学書院						
《授業外における学習方法》 授業で学習した内容を主体的に復習する。また、母子実習室や看護実習室で赤ちゃんや5歳児のモデル人形を使用して、看護技術を繰り返し、練習する。						
《履修に当たっての留意点》 基礎看護学での基礎看護技術が基本となる。子どもの年齢、成長・発達に応じた、また子どもへの思いやり、誠実さをもった看護技術を習得しましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達段階に応じたコミュニケーションと遊びを述べるができる	教科書 AV機器他	概論で学んだ遊びやコミュニケーションについて予習する	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション、遊びの援助、子どもの健康管理			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの成長・発達をふまえた日常生活援助について述べるができる	教科書 AV機器他	概論で学んだ遊びや乳児期や幼児期の特徴について予習する	
		各コマにおける授業予定	日常生活援助—トレットレーン、清潔、更衣、食事、環境			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの各系統のアセスメントのポイントを述べるができる	教科書 AV機器他	身体計測の方法、子どもの成長・発達、この授業に関連する形態機能の特徴について予習する	
		各コマにおける授業予定	身体的アセスメント—身体計測、一般状態、眼、耳、顔面、口腔			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの各系統のアセスメントのポイントを述べるができる	教科書 AV機器他	子どもの成長・発達、この授業に関連する形態機能の特徴について予習する	
		各コマにおける授業予定	身体的アセスメント—呼吸、循環、腹部			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの各系統のアセスメントのポイントを述べるができる	教科書 AV機器他	子どもの成長・発達、この授業に関連する形態機能の特徴について予習する	
		各コマにおける授業予定	身体的アセスメント—筋骨格系 神経系、生殖器系			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの各系統のアセスメントのポイントを述べるができる	教科書 AV機器他	子どもの成長・発達、この授業に関連する形態機能の特徴について予習する
		各コマにおける授業予定	身体的アセスメントーリンパ系、外皮系 入院中の子どもと家族の特徴		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	入院や外来という人的・物的環境が子どもや家族に与える影響を考える	教科書 AV機器他	前回の授業で学んだ入院中の子どもと家族についてを復習しておく
		各コマにおける授業予定	入院中の子どもと家族の看護 外来における子どもと家族の看護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	プレパレーションの背景やプロセスを述べるができる	教科書 AV機器他	前回の授業で学んだ入院や外来における子どもと家族の看護を復習しておく
		各コマにおける授業予定	プレパレーションの理論と実際		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を使った演習でプレパレーションの実際をイメージできる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習する
		各コマにおける授業予定	プレパレーションの実際		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がいのある子ども、在宅療養中の子どもの看護を述べるができる	教科書 AV機器他	これまでに学んだ「障がい」とは、その種類について復習しておく
		各コマにおける授業予定	障がいのある子どもと家族の看護 在宅療養中の子どもの特徴と看護		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	災害時の子どもの反応、虐待をうけた子どもにみられる反応を述べるができる	教科書 AV機器他	概論で学んだ虐待に関する内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	災害時の子どもの反応と家族の看護 虐待を受ける子どもと家族の看護		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査・処置を受ける子どもの看護のポイントを述べるができる	教科書 AV機器他	薬物動態やこれまでの授業で学んだ内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	検査・処置を受ける子どもの看護(総論) 薬物療法を受ける子どもの看護①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの成長・発達や薬物動態をふまえた薬物療法の看護を述べるができる	教科書 AV機器他	薬物動態や水分バランスなど授業で学んだ内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	薬物療法を受ける子どもの看護② 子どもの輸液管理、採血、子どもの拘束、隔離、活動制限と看護		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	子どもの経管栄養、排泄、安楽な呼吸の援助を述べるができる モデル人形を用いて発達段階に応じた胸骨圧迫ができる	教科書 AV機器他	基礎看護技術の授業で学んだ内容を復習しておく
		各コマにおける授業予定	経管栄養、排泄の援助(浣腸) 安楽な呼吸への援助(酸素・吸入・吸引) 気道の異物除去、子どもの救命救急ー胸骨圧迫の演習		
第15回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	検査時に子どもの感じる心理的苦痛・身体的苦痛をイメージできる モデル人形を用いて男児・女児の採尿バッグの貼り方ができる	教科書 AV機器他	教科書の演習予定の範囲を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	検査時の看護ー検尿(演習)、骨髄穿刺、腰椎穿刺(固定の演習)		